

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信 託 期 間	無期限
主 要 投 資 対 象	「しんきん米国ウォーターマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。
運 用 方 針	<p>①主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の金融商品取引所に上場している投資信託証券に投資し、ISE Clean Edge Water Index(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主 要な 投 資 制 限	<p>①株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p>
収 益 分 配 方 針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
<コールセンター> ☎ 0120-781812  
(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181  
( 9 : 00~17 : 00 )

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

## 運用報告書(全体版)

# しんきん米国ウォーター ファンド

決算日

(第3期: 2025年7月7日)

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいたお「しんきん米国ウォーターファンド」は2025年7月7日に第3期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

# 目 次

---

◇しんきん米国ウォーターファンド	貢
設定以来の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第3期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	7
利害関係人との取引状況等	7
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	7
自社による当ファンドの設定・解約状況	7
組入資産の明細	8
投資信託財産の構成	8
資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
損益の状況	9
分配金のお知らせ	9
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん米国ウォーターマザーファンド	11

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数 (配当込み、円換算ベース)※ (ベンチマーク)	投 資 信 託 券 組 入 比 率	純 総 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 謄 落 率			
(設定日) 2022年10月12日	円 10,000		円 —	% —	ポイント 10,000	% —	% —
1期(2023年7月5日)	11,844		20	18.6	12,018	20.2	99.6
2期(2024年7月5日)	14,631		60	24.0	15,141	26.0	99.7
3期(2025年7月7日)	14,623		40	0.2	15,400	1.7	99.8
							312

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万口当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）は2022年10月12日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数 (配当込み、円換算ベース)※ (ベンチマーク)	投 資 信 託 券 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2024年7月5日	円 14,631	% —	ポイント 15,141	% —
7月末	14,928	2.0	15,455	2.1
8月末	14,217	△2.8	14,744	△2.6
9月末	14,306	△2.2	14,861	△1.9
10月末	15,043	2.8	15,638	3.3
11月末	15,234	4.1	15,854	4.7
12月末	14,940	2.1	15,577	2.9
2025年1月末	15,009	2.6	15,662	3.4
2月末	14,212	△2.9	14,841	△2.0
3月末	13,769	△5.9	14,399	△4.9
4月末	13,189	△9.9	13,804	△8.8
5月末	13,980	△4.4	14,648	△3.3
6月末	14,383	△1.7	15,082	△0.4
(期 末) 2025年7月7日	14,663	0.2	15,400	1.7
				99.8

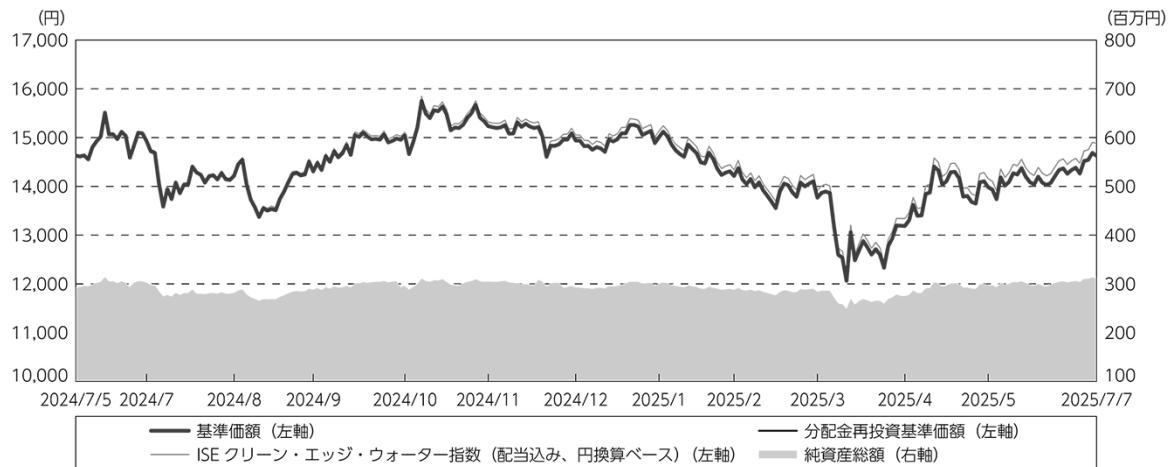
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

※Nasdaq®、ISE Clean Edge Water Index®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（Nasdaq、その関連会社、以下「NASDAQ社」といいます。）の登録商標であり、しんきんアセットマネジメント投信株式会社がライセンスを得て使用しています。NASDAQ社は、当ファンドの合法性または投資の妥当性についていかなる表明をするものではありません。NASDAQ社は当ファンドのスポンサー・推奨・販売・販売促進も行いません。NASDAQ社は、当ファンドについて何らの保証もせず、また当ファンドについて何らの責任を負うものではありません。

## ○第3期の運用経過等（2024年7月6日～2025年7月7日）

### <当期中の基準価額等の推移>



（注1）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金再投資基準価額およびISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）は、期首（2024年7月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注3）ベンチマークは、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）です。

### <基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきん米国ウォーターマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期は、マザーファンドを通じて投資を行っている「ファースト・トラスト・ウォーター ETF」の値上がりを主な要因に、基準価額（分配金込み）は上昇しました。当期の基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

#### 基準価額変動要因

前期末基準価額	14,631円	
要因	上場投資信託 (E T F)	キャピタル
		インカム
	為替	△1,536円
	小計	130円
分配金	△40円	
その他変動要因（信託報酬含む）	△98円	
当期末基準価額	14,623円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは市場変動等による E T F 価格の上下動に伴う売買損益（評価損益を含む）、インカムとは配当等による収益です。

## ＜上昇要因＞

- ・2024年9月に米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.5%の利下げが決まったこと。
- ・トランプ氏が掲げる規制緩和や減税が米景気を刺激するとの期待が高まったこと。
- ・米中両政府が双方に課していた高関税を大幅に引き下げることを発表したこと。

## ＜下落要因＞

- ・2024年7月の失業率が上昇したことで米景気後退懸念が高まったこと。
- ・トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前の予想を上回る内容であったこと。
- ・米ドルが下落したこと。

## ＜投資環境＞

### (米国株式市況)

当期の米国株式市場は、全体として上昇しました。

当期初から2024年8月上旬にかけては、世界的なシステム障害などを受けて、ハイテク企業の株価が軟調な動きとなったことや、7月の米雇用統計で失業率が上昇したことで米景気後退懸念が高まることなどから、下落しました。その後、11月にかけては、9月にFOMCで0.5%の利下げが決まったことや、11月にトランプ氏が大統領選で勝利し、同氏が掲げる規制緩和や減税が米景気を刺激するとの期待などから、上昇基調で推移しました。12月から2025年3月にかけては、米企業の好決算などが支えとなりましたが、利下げ観測の後退や、トランプ政権の通商政策への不透明感などが重しとなり、売りが優勢となりました。その後は、米国によるカナダやメキシコに対する関税引上げが米景気を悪化させるとの懸念から軟調な動きとなりました。4月に入ると、トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前の予想を上回る内容であったことに加え、中国政府が報復関税を発表し、貿易戦争の激化懸念が高まることなどから、投資家心理が悪化し、大きく下落しました。4月中旬から5月にかけては、米英両政府が貿易協定の締結合意を発表したことや、米中両政府が双方に課していた高関税を大幅に引き下げることを発表したことなどが好感され、上昇しました。その後、当期末にかけては、中東情勢の緊迫化が重しとなる場面もありましたが、米中の貿易交渉進展への期待や、イスラエルとイランの停戦が成立したことで投資家心理が改善したことなどから、上昇基調で推移しました。

### (為替市況)

当期の米ドル円為替相場については、米ドルが下落しました。

当期初から2024年9月にかけては、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決めたことや、8月の株式市場の歴史的な急落を受けてリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円の買いが優勢となつたことなどを背景に、米ドル円は下落しました。10月から12月にかけては、米大統領選でトランプ氏が勝利し、同氏が掲げる政策がインフレを再燃させるとの見方や、堅調な米景気などを背景に、米ドル円は上昇しました。その後、当期末にかけては、2025年4月に米中貿易戦争が激化の様相を呈したことなどから世界的な景気減速懸念が高まつたことなどを受けて、リスク回避姿勢が強まつたことなどを背景に、米ドル円は下落しました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん米国ウォーターマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、ISEクリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

### ●しんきん米国ウォーターマザーファンド

ISEクリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投

資信託である「ファースト・トラスト・ウォーター ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位の水準を保つように努めました。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率（分配金込み）は+0.2%となり、同期間のベンチマークの騰落率である+1.7%を1.5%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因としては、信託報酬やマザーファンドにおけるコスト等が挙げられます。

## ＜分配金＞

当期の収益分配金については、経費控除後の配当等収益や期末の基準価額水準等を勘案して、1万口当たり40円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2024年7月6日～ 2025年7月7日
当期分配金	40
(対基準価額比率)	0.273%
当期の収益	40
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,622

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、親投資信託である「しんきん米国ウォーターマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。

### ●しんきん米国ウォーターマザーファンド

主として上場投資信託である「ファースト・トラスト・ウォーター ETF」へ投資することで、実質的に米国市場に上場している水関連ビジネス企業の株式（ADR（米国預託証書）を含みます。）に投資を行い、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動することを目指します。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年7月6日～2025年7月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 67	% 0.465	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(23)	(0.160)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(40)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後的情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.033	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(5)	(0.033)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	29	0.202	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(28)	(0.195)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他の）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	101	0.701	
期中の平均基準価額は、14,434円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

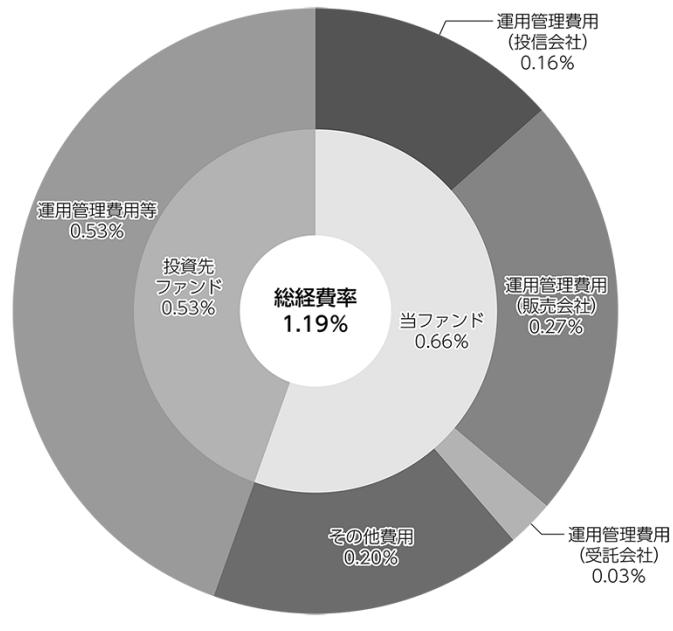
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.19%です。



(単位: %)

総経費率(①+②)	1.19
①当ファンドの費用の比率	0.66
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.53

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年7月6日～2025年7月7日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん米国ウォーターマザーファンド	千口 57,816	千円 85,063	千口 46,005	千円 68,400

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年7月6日～2025年7月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年7月6日～2025年7月7日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年7月6日～2025年7月7日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年7月7日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
しんきん米国ウォーターマザーファンド	千口 196,985	千口 208,796	千円 311,983

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
しんきん米国ウォーターマザーファンド	千円 311,983	% 99.4
コール・ローン等、その他	1,822	0.6
投資信託財産総額	313,805	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ウォーターマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(312,289千円)の投資信託財産総額(312,582千円)に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2025年7月7日現在、1ドル=144.41円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月7日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	313,805,809
しんきん米国ウォーターマザーファンド(評価額)	1,222,331
未収入金	311,983,467
未収利息	600,000
未収利息	11
(B) 負債	1,571,513
未払収益分配金	854,095
未払解約金	37,321
未払信託報酬	672,160
その他未払費用	7,937
(C) 純資産総額(A-B)	312,234,296
元本	213,523,861
次期繰越損益金	98,710,435
(D) 受益権総口数	213,523,861口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,623円

(注1) 当ファンドの期首元本額は200,119,647円、期中追加設定元本額は67,531,556円、期中一部解約元本額は54,127,342円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,4623円です。

## ○損益の状況 (2024年7月6日～2025年7月7日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	円
受取利息	1,647
(B) 有価証券売買損益	1,647
売買益	2,910,840
売買損	5,360,026
(C) 信託報酬等	△ 2,449,186
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,371,841
(E) 前期繰越損益金	1,540,646
(F) 追加信託差損益金	33,642,216
(配当等相当額)	64,381,668
(売買損益相当額)	( 31,612,349)
(G) 計(D+E+F)	( 32,769,319)
(H) 収益分配金	99,564,530
次期繰越損益金(G+H)	△ 854,095
追加信託差損益金	98,710,435
(配当等相当額)	64,381,668
(売買損益相当額)	( 31,670,126)
分配準備積立金	( 32,711,542)
	34,328,767

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,023,070円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(517,576円)、信託約款に規定する収益調整金(64,381,668円)および分配準備積立金(33,642,216円)より分配対象収益は99,564,530円(10,000口当たり4,662円)であり、うち854,095円(10,000口当たり40円)を分配金額としています。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	40円
----------------	-----

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金(特別分配金)」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

**<約款変更のお知らせ>**

- ・当ファンドを取扱う指定販売会社に第一種金融商品取引業者を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年3月29日実施)
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

## 運用報告書

### 親投資信託

# しんきん米国ウォーターマザーファンド

### 第3期

(決算日 : 2025年7月7日)

しんきん米国ウォーターマザーファンドの第3期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
主要投資対象	海外の金融商品取引所に上場している投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 針	<p>① ISE Clean Edge Water Index（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。</p> <p>② 主として上場投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の株式（A D R（米国預託証書）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。なお、上場投資信託証券の選定および変更に当たっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託者の判断により決定するものとします。</p> <p>③ 上場投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④ 運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>⑤ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥ 市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投 資 制 限	<p>① 株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>② 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>③ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④ 同一銘柄の転換社債および新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑤ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑥ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数 (配当込み、円換算ベース) ** (ベンチマーク)		投資信託券率	純総資産額
		期騰落	中率		
(設定日) 2022年10月12日	円 10,000	% —	ポイント 10,000	% —	% — 百万円 1
1期(2023年7月5日)	11,907	19.1	12,018	20.2	99.7 60
2期(2024年7月5日)	14,839	24.6	15,141	26.0	99.9 292
3期(2025年7月7日)	14,942	0.7	15,400	1.7	99.9 311

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万口当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注2) ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）は2022年10月12日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

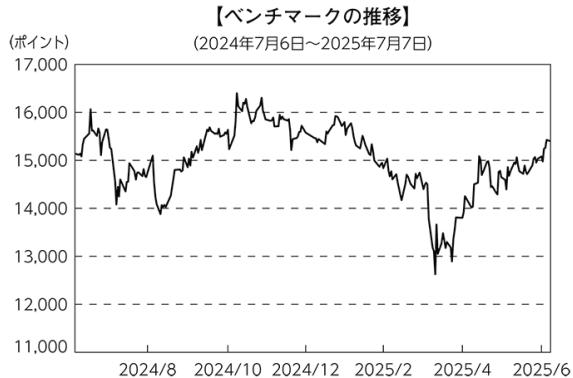
年月日	基準価額	ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数 (配当込み、円換算ベース) ** (ベンチマーク)		投資信託券率
		騰落	率	
(期首) 2024年7月5日	円 14,839	% —	ポイント 15,141	% — 99.9
7月末	15,146	2.1	15,455	2.1 99.9
8月末	14,429	△2.8	14,744	△2.6 99.9
9月末	14,525	△2.1	14,861	△1.9 99.9
10月末	15,280	3.0	15,638	3.3 100.1
11月末	15,480	4.3	15,854	4.7 99.9
12月末	15,187	2.3	15,577	2.9 99.7
2025年1月末	15,264	2.9	15,662	3.4 99.6
2月末	14,458	△2.6	14,841	△2.0 99.9
3月末	14,012	△5.6	14,399	△4.9 99.8
4月末	13,427	△9.5	13,804	△8.8 99.9
5月末	14,238	△4.1	14,648	△3.3 99.9
6月末	14,655	△1.2	15,082	△0.4 100.0
(期末) 2025年7月7日	14,942	0.7	15,400	1.7 99.9

(注) 脲落率は期首比です。

※Nasdaq®、ISE Clean Edge Water Index®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社 (Nasdaq、その関連会社、以下「NASDAQ社」といいます。) の登録商標であり、しんきんアセットマネジメント投信株式会社がライセンスを得て使用しています。NASDAQ社は、当ファンドの合法性または投資の妥当性についていかなる表明をするものではありません。NASDAQ社は当ファンドのスポンサー・推奨・販売・販売促進も行いません。NASDAQ社は、当ファンドについて何らの保証もせず、また当ファンドについて何らの責任を負うものではありません。

## ○第3期の運用経過等（2024年7月6日～2025年7月7日）

## &lt;当期中の基準価額等の推移&gt;



当ファンドは、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

## &lt;上昇要因&gt;

- ・2024年9月に米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.5%の利下げが決まったこと。
- ・トランプ氏が掲げる規制緩和や減税が米景気を刺激するとの期待が高まったこと。
- ・米中両政府が双方に課していた高関税を大幅に引き下げる発表したこと。

## &lt;下落要因&gt;

- ・2024年7月の失業率が上昇したことによる米景気後退懸念が高まったこと。
- ・トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前の予想を上回る内容であったこと。
- ・米ドルが下落したこと。

## &lt;投資環境&gt;

## (米国株式市況)

当期の米国株式市場は、全体として上昇しました。

当期初から2024年8月上旬にかけては、世界的なシステム障害などを受けて、ハイテク企業の株価が軟調な動きとなったことや、7月の米雇用統計で失業率が上昇したことによる米景気後退懸念が高まったことなどから、下落しました。その後、11月にかけては、9月にFOMCで0.5%の利下げが決まったことや、11月にトランプ氏が大統領選で勝利し、同氏が掲げる規制緩和や減税が米景気を刺激するとの期待などから、上昇基調で推移しました。12月から2025年3月にかけては、米企業の好決算などが支えとなりましたが、利下げ観測の後退や、トランプ政権の通商政策への不透明感などが重しとなり、売りが優勢となりました。その後は、米国によるカナダやメキシコに対する関税引上げが米景気を悪化させる懸念から軟調な動きとなりました。4月に入ると、トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前の予想を上回る内容であったことに加え、中国政府が報復関税を発表し、貿易戦争の激化懸念が高まったことなどから、投資家心理が悪化し、大きく下落しました。

## しんきん米国ウォーターマザーファンド ー第3期ー

4月中旬から5月にかけては、米英両政府が貿易協定の締結合意を発表したことや、米中両政府が双方に課していた高関税を大幅に引き下げるなどを発表したことなどが好感され、上昇しました。その後、当期末にかけては、中東情勢の緊迫化が重しとなる場面もありましたが、米中の貿易交渉進展への期待や、イスラエルとイランの停戦が成立したことで投資家心理が改善したことなどから、上昇基調で推移しました。

### （為替市況）

当期の米ドル円為替相場については、米ドルが下落しました。

当期初から2024年9月にかけては、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決めたことや、8月の株式市場の歴史的な急落を受けてリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円の買いが優勢となったことなどを背景に、米ドル円は下落しました。10月から12月にかけては、米大統領選でトランプ氏が勝利し、同氏が掲げる政策がインフレを再燃させるとの見方や、堅調な米景気などを背景に、米ドル円は上昇しました。その後、当期末にかけては、2025年4月に米中貿易戦争が激化の様相を呈したことなどから世界的な景気減速懸念が高まったことなどを受けて、リスク回避姿勢が強まることなどを背景に、米ドル円は下落しました。

### ＜当ファンドのポートフォリオ＞

ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「ファースト・トラスト・ウォーター ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位の水準を保つように努めました。

### ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+0.7%となり、同期間のベンチマークの騰落率である+1.7%を、1.0%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因としては、売買執行コスト、投資先の上場投資信託の運用コスト等が挙げられます。

### ＜今後の運用方針＞

引き続き、主として上場投資信託である「ファースト・トラスト・ウォーター ETF」へ投資することで、実質的に米国市場に上場している水関連ビジネス企業の株式（ADR（米国預託証書）を含みます。）に投資を行い、ISE クリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）に連動することを目指します。

## しんきん米国ウォーターマザーファンド 第3期

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年7月6日～2025年7月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 5 (5)	% 0.033 (0.033)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	29 (29) (0)	0.197 (0.195) (0.002)	(c) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	34	0.231	
期中の平均基準価額は、14,675円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## ○売買及び取引の状況

(2024年7月6日～2025年7月7日)

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 アメリカ FIRST TRUST WATER ETF	口 5,568	千ドル 583	口 4,381	千ドル 461

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年7月6日～2025年7月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年7月7日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) FIRST TRUST WATER ETF	18,349	19,536	2,158	311,657	99.9
合計	18,349	19,536	2,158	311,657	<99.9%>
銘柄数 <比率>	1	1	—	—	<99.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) &lt;&gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

## &lt;組入上位ETFの保有銘柄の明細&gt;

※First Trust作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信（株）が作成しています。

**First Trust Water ETF**

組入上位10銘柄（2024年12月31日現在）

(組入銘柄数 36銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	Waters Corporation	4.5
2	IDEX Corporation	4.3
3	Pentair Plc	4.2
4	Agilent Technologies, Inc.	4.0
5	Roper Technologies, Inc.	3.9
6	AECOM	3.9
7	Ecolab Inc.	3.9
8	Veralto Corporation	3.8
9	American Water Works Company, Inc.	3.7
10	IDEXX Laboratories, Inc.	3.6

# しんきん米国ウォーターマザーファンド 第3期

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 311,657	% 99.7
コール・ローン等、その他	925	0.3
投資信託財産総額	312,582	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産（312,289千円）の投資信託財産総額（312,582千円）に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、2025年7月7日現在、1ドル=144.41円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月7日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 313,203,728
コール・ローン等	302,860
投資信託受益証券(評価額)	311,657,274
未収入金	1,243,592
未利利息	2
(B) 負債	1,220,892
未払金	620,892
未払解約金	600,000
(C) 純資産総額(A-B)	311,982,836
元本	208,796,324
次期繰越損益金	103,186,512
(D) 受益権総口数	208,796,324口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,942円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は196,985,395円、期中追加設定元本額は57,816,310円、期中一部解約元本額は46,005,381円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額  
しんきん米国ウォーターファンド 208,796,324円

(注3) 1口当たり純資産額は1.4942円です。

## ○損益の状況 (2024年7月6日～2025年7月7日)

項目	当期
(A) 配当等収益	1,898,426
受取配当金	1,897,507
受取利息	919
(B) 有価証券売買損益	1,700,134
売買益	32,557,003
売買損	△ 30,856,869
(C) 保管費用等	△ 577,672
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,020,888
(E) 前期繰越損益金	95,313,553
(F) 追加信託差損益金	27,246,690
(G) 解約差損益金	△ 22,394,619
(H) 計(D+E+F+G)	103,186,512
次期繰越損益金(H)	103,186,512

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)